

事業番号	171
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	児童クラブ施設整備事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	子育て支援課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	子育て支援係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援		5 児童健全育成事業を推進する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	3		目	2		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画	児童福祉法 次世代育成支援対策行動計画														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	児童クラブ施設の整備を図ることにより、児童の生活の場の環境の改善を図る。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設後数年が経過し、痛みが生じたものや使い勝手の悪い箇所の修繕を行う。 ・小牧小学校の建替えに伴い、プール棟横に小牧児童クラブを建設した。 ・味岡、米野、本庄児童クラブについての建築設計を行った。 <p>老朽化などに伴う修繕を引き続き行う。 学年拡大に伴う施設整備(味岡、本庄、米野児童クラブ専用施設の建設など)を行う。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 設計・監理委託料(13,479千円) 工事請負費(26,250千円)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 設計・監理委託料(16,704千円) 工事請負費(285,300千円) その他(手数料、負担金など)(765千円)</p> <p>※国・県支出金 児童厚生施設等整備補助金(5,000千円) ※その他財源内容 社会福祉基金繰入金(250,000千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	935	1,045	39,729	302,769	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.50	1.00
			人件費	千円	266	266	2,665	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,201	1,311	42,394	308,099		
	対前年比	%		109.1	3,233.7	726.7		
財源	一般財源	千円	1,201	1,311	37,394	8,099		
	国・県支出金	千円	0	0	5,000	50,000		
	その他財源	千円	0	0	0	250,000		

業 績	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	クラブ数	ヶ所	目標		16	16	16	16
			実績		16	16	16	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	受入児童数	人	目標		1,000	1,050	1,100	1,150
			実績		1,274	1,386	1,337	
		目標						
		実績						

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	小牧児童クラブを建設した。 また、味岡、本庄、米野児童クラブ建設の設計を行った。				
		事業実施における課題	予測不可能な大規模修繕にすぐ対応できない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	児童が安全に過ごすことが出来なくなり、怪我や事故につながる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	児童クラブには、夏休みなどの長期の休みはなく、運営をしながらの児童クラブ建設となるため、安全に充分注意し整備する。 26年度から4年生の利用が開始するが、27年度の5年生の利用開始に向けて、更なる施設整備が26年度に必要なか把握するため、夏休みに利用者アンケートを実施する。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	現時点では維持と判断するが、25年度に実施する利用者アンケートの結果により、更なる施設整備が必要となれば対応する。					
	26年度以降の改善案	学校と調整を図り、児童の適切なスペースが確保できるように施設整備を図る。 また、現在の施設についての中長期の整備計画を策定し、突発的な大規模修繕が発生しないようにする。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。